



村人、世界に挑戦

～魂の激走で銀・銅メダル獲得～

教育長 津野 庄一郎

ふなやまかつ お

船山勝雄（勝蔵）さんのことです。船山さんを初めて知ったのは 50 年以上も前、中学生の頃です。

ご自宅の脇に「柔剣道場」を建てられ、当時剣道部だった私たちは、道場開きで稽古をしました。以来、船山さんは長く村会議員を務められ、またスポーツ少年団（会長）などを通じて若者の育成にも尽力されました。村のために長年活動されてきたことは、皆さんもご存じのことと思います。

そんな船山さんが世界大会に出場すると知ったのは同級生の小沢さんからでした。「船山さんが世界大会に挑戦するのを知っているか」と聞かれたのです。なんでもこの夏に、「コラッシュ」で知ったとのことでした。

村人が世界に挑戦する。それも米寿（88 歳）を迎え、複数の種目に出場すると言うのです。これまで、国内のさまざまな陸上大会に出場し、記録を打ち立てて、優勝されていることは知っていましたが、改めて驚くとともに、何か誇らしい気持ちになりました。

8 月 22 日～9 月 3 日、韓国の大邱（テグ）市で開催された「2026 世界マスターズ陸上競技選手権大会」は、106 か国から約 7,500 人以上の選手が参加しました。船山さんは 85 歳から 89 歳の部で 3 種目の予選に出場し、気温 37 度を超える猛暑の中、決勝では 1500m で銀、800m で銅メダルの二つを獲得する快挙を成し遂げました。

船山さんの挑戦から学ぶべきことは何でしょうか。「好きだから走る」。その思いが原動力であることはもちろんですが、私は長く続けることの大切さ、目標をもち、たゆまず努力することの素晴らしさ、そして、さらなる高みを目指してチャレンジすることの尊さにあると思います。

『広報せきかわ』8 月号で、船山さんは「90 歳代での全国制覇です」と目標を語っています。村人の大先輩として挑戦を続ける船山さん。その頑張る姿に最敬礼。

<【写真】9 月 4 日、元気に帰国して報告する船山さん（教育長室）>